

アンケート結果を受けて改善したいところ 【創造科学系】

学習習慣に配慮する授業運営を行ったことで、まだ1年生で意欲が不十分ではあるがおおむね1時間の時間外学習時間を確保できたと考えているが、自ら調べて考えを深める段階に持ち込むための工夫に改善の余地があると考えた。ただ、無理に学生に負荷をかけるのは、特に前期に専門科目が集中しているため、前期の授業では避けたいところである。3年生については、9月中旬に自己都合により退学した学生1名が否定的回答をしていると想像する。その理由は、他の高い肯定的評価に集中した回答との差が明瞭なためである。「話し方の聞き取りやすさ」が全体に低いことについては、板書計画や提示資料の改善で授業内の学習のポイントを明瞭にすることにより、発問や指示の具体性を高めることによって改善したい。

ピアノ実習については、今年度大幅に内容を変更して取り組んだ授業なので、学生の様子を見ながら、授業期間中も変更を加えながら授業を行っていた。グループを活かしながら進めて行くことを、次年度はもっと考えていきたい。

教員に対して気軽に話ができるような雰囲気づくりを心掛け、コミュニケーションを取りやすくする。

概ね良好であると考えられるので、継続して行っていくことでデータが蓄積されより良い評価基準が作ることができると思う。

授業内で学生自身に考えさせたり、自由に討論する時間を設けたいと考えている。

教員養成として適切な内容にすべく改善したいと思います。

学習内容についてのコミュニケーションをさらに図る必要がある。

本授業の学習目標の達成率は90.3%（①強くそう思う、②ややそう思うの合計）であった。残りの9.7%（③どちらともいえないと無回答の合計）の数値を少しでも下げるには、「授業の難易度」（③ちょうどよいとする回答が90.3%である一方で、②易しい③難しすぎるの合計が6.4%であった）を再考していきたい。具体的には、「ゲームから学ぶ」というコンセプトで、「適切な課題設定となるゲームの提示」、「子どもたちの実態に即したゲームの修正・変更」、「ゲームでの問題の外在化」の3つの視点から、運動教材そのものを学生たちがつくりかえていけるプログラムを実施していきたい。また、自由記述の中で「サッカーが好きになった。指導法を利用し、自分のような思いをする子を増やしたい」があった。運動教材の可能性にも言及し、学校で体育を学ぶ意味を今後も探していきたい。

スポーツ医学：今後もよりわかりやすくなるように資料をバージョンアップしていきたいと考えている。
水泳：安全に配慮し、伝統ある遠泳を継続できるよう努める。体制を整える。

前述したとおり、授業内容の「難易度を落とす、内容を簡単なものにする、課題の量を減らす」等を検討している。しかし教員免許に関わる授業において、学生からのアンケート結果を受けて安易で平易な方向へ合わせていくことには強く疑問を感じている。

大半の学生が満足しているので、現状のまま行ないたい。

問1～問7に関して概ね肯定的であることは学生たちは一応自分の授業態度等には満足していると考えられることができる。問13の授業の難易度では難しい、難しすぎるが80%もあった。1年生で選択の専門はやはり基礎的な知識がないため、授業者が平易に述べても難しいのかもしれない。やはり開講学年を元に戻すか、かなり平易に分かり易い授業にする必要があると感じた。

誰でもそうなりがちであるが、自分の評価に甘く、他人には厳しいということである。問1～問7は学生自身の達成度の設問で、学生は肯定的な回答である。ある意味、学生たちがのびのび実習できるようにした甲斐があったように思われる。問13で授業の難易度に関して、ちょうどいいと難しいが半々であることに少し改善の余地があるやに思われるが、課題解決に向け学生同士が議論し合って解決できるようにしているため介入は避けた方がいいように思われる。

もう少しは資料を多く配布した方が良いと思いました。

事前(授業外)学習の時間を増やすよう、指導していきたい。

問1から12のうち、問2、問3を除いて①+②が80%～90%超であったので今後も特に改善に努める必要はなさそうである。問2「授業で提示された課題・参考文献・資料などを自ら検索・参照した上で、自分で問題点を深く考えた。さらに、その考えに基づき行動した。」や、問3「授業を受けた上で、自ら関連項目について文献やインターネットなどで調査し、新たな思考を展開した。さらにその思考に基づき行動した。」は、②意外にも③や④と答えた学生も相当数いたことから、今後、自発的な学習につながっていくような授業をしなくてはならないと思う。(絵画基礎)
問2で②、問10で③が最も多かったので、今後は自発的な学習を深めさせることと、教材・教具について工夫する必要があるが、現地での授業機会しかないため、夜の講評会を学習会活動に改めたい。(風景写生)

授業を受けた後で自ら課題を見つけ行動したり、学生同士で授業内容を深め合った、授業のための週当たりの学習時間が少なかったり、低かった。これらについて、今後改善策を考えなければならないと思った。

授業が難しいという学生が半数以上を占めていたので、難しいとってしまうことをそう感じさせない説明方法や導き方を工夫していきたい。

概ね目標を達成できたように思う。

両者ともに、コミュニケーションが取れていない、また授業の難易度が高く、量が多いという結果が比較的が多くなっているため、よりわかりやすく、時間内の量を勘案して改善したいと思う。

アンケート結果は、どの質問に関しても、良好な結果であったことから、大きな改善は必要ないと考える。ただし、「授業の難易度」に関しては、「難しい」との回答が比較的多く、集中講義という授業形式の特徴も影響していると考えられるが、そのような時間的な制約のなかでも、受講生の課題遂行の進捗状況を定期的に把握しながら、授業を進める必要があると思われる。

授業アンケートの結果を見ると、おおむね良い結果であったのではないかと思います。しかしその中でも問3に関連した点では、授業改善していくことができるのではないかと考えています。特に、授業を受けた上で、学生たちが自ら文献やインターネットなどを使って学びを深めていくことができれば良いと思いますので、今後の課題としたいと考えています。

初歩的な内容から専門基礎的な内容までを講義形式で教授していることもあり、学生の反応を見て主体的な授業参加に導く点にやや難がある。学生からの質問事項をくみ上げることも含めて、より積極的な授業参加を促すよう努めたい。

自ら予習・復習をする姿勢を深めさせたい。

問13、14で「難しい」、「多い」という回答があった為、少ない人数ではあったが、今後、更に各々のレベルを考え課題を出す必要があると思った。

課題の曲は、各学生のレベルに合わせて出しているが、入試段階で声楽(主)で入学してきた学生と声楽(副)で入ってきた学生の差は予想以上に大きく、今後、この点を考える必要性を感じた。

一割弱の学生がこの授業に対してマイナスの感想を持っているようであるので、その点を踏まえて、今後改善したいと考える。

授業内容の性格上、どうしても単なる知識の伝達が主となってしまっているようなので、その辺の授業方法をもう少し工夫することが必要であろう。知識そのものを教えると同時に、その知識がどのように各生活用品に利用されているかの応用編の具体例をより広範囲に伝えることが必要であろうと思う。

教材、配布資料の内容を充実させる。

実技制作が中心の授業において30数名の学生を個別に指導するには時間が不足した為、全体講評の機会を増やすことで、より効率の良い指導方法を取り入れたい。

教材・教具のわかりやすさについて、改善していきたいと考えています。
板書に工夫の余地があると感じています。また、より適切な配布資料を用意できるよう努力したいと考えています。

個々で技術の差があるので、そこをくみ取りながら、できるだけすべての生徒が理解でき有意義な授業になるように工夫していきたい。

課題が多く、それに伴って材料や道具なども多いため、忙しく煩雑なところがあると考えていたが、授業内容の量や難易度などの評価は考えていたより悪くなく、むしろさらに学びたいと思う学生が多かったことから、学生の意欲、関心が高く、積極的に学ぼうとする姿勢がうかがえる。教材(プリント、材料など)が多く、配付に時間がかかる、説明が長く理解不足になるなどの欠点があるので、マイクやプロジェクターの活用などを活用し、わかりやすい授業構成を考えていきたい。